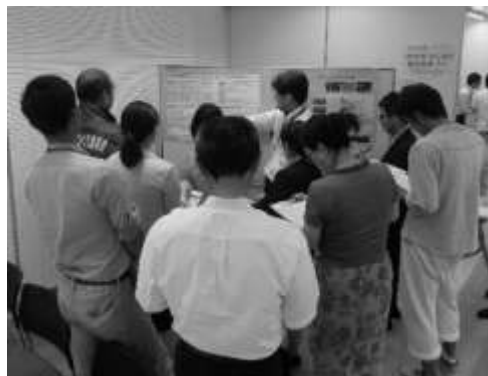


平成29年度 第1回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 29 年 7 月 26 日（水）19 時より、東松島市役所南庁舎会議室において、市民委員 19 名およびアドバイザー企業 8 社が出席し、平成 29 年度第 1 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 東松島市復興まちづくり計画市民委員会について
4. 委員長、副委員長選出
5. 人口ビジョン・総合戦略について
6. 意見交換 ～平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～
7. その他 今後の予定について



■市長挨拶

私は、4月から市長に就任した。震災からの復興を加速させ、復興庁が廃止される4年後までに復興を完結させること、さらには甚大な被害を受け新たな場所で再出発をしている方々の心の復興を含めたコミュニティづくりを応援していきたい。また、人口減少を食い止めるためにも企業誘致をしっかりと進め、さらには子育て支援、教育・学力向上、観光振興などに取り組んでいく。

地方分権が進む中で、自治体間の競争に打ち勝っていく体制づくりが大事である。そのためにも、委員の皆様には様々な立場からご意見をいただき、しっかりと議論をしていきたい。市民の皆様がつくる、市民が主役の東松島市である。どうぞよろしくお願いしたい。

■意見交換 ～平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～

市の人口・産業等の状況について、大村委員長より情報提供を行った上で、平成 28 年度に実施した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」に基づく事業について、市の担当職員を交え、委員がポスターセッション形式で意見交換を行いました。具体的には、「定住化促進事業」、「空き家バンク先行モデル事業」、「絆交流」から育む観光地域づくりプロジェクト」の3事業について、これまでの実施状況や現状・課題、市で実施した内部評価について、市民からの目線で意見を出し合いました。

◇平成 28 年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について（一部意見を要略）

- ・移住や出産・子育て等についてさまざまな支援策があるが、支援を受ける人が自分で情報を探さなければならない。たとえば、工務店や銀行など新たに家を建てる人が利用しそうなところで移住者向けの情報提供を行うなど、情報発信の多様化を図ってほしい。
- ・旧野蒜駅周辺の震災遺構、祈念ひろば等は、市外から人を呼び込むだけでなく、多くの市民が足を運ぶような場所となってほしい。
- ・交流人口、定住人口の増加に向けて、仙台等へのアクセスの良さ、気候の良さをはじめとする東松島市の魅力を積極的に発信していくことが重要である。

※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

作成：東松島市復興まちづくり計画市民委員会事務局